

9/22(土)開催「まちづくりワークショップ ～大人が考える「まちづくりへの子どもの参加」～」より
(18歳以上で、市内在住・在勤の方の意見です)

区 分	「まちづくりへの子どもの参加」で大切なこと等
1. 子どもに教える (11)	<p>日常教育で基礎を教えること ボランティアについての心づくりを家庭で学校で 子ども参加型のまちづくりの意義を出前講座で周知してもらう。 色々な情報の発信の強化 「まちづくり」に子どもを参画させている他都市の事例を子どもたちに周知し、子どもが「まちづくり」に参加することで、どんなメリットがあるかを教えて興味を持たせる。 いくら良い企画があっても知ってもらわないと話にならない。PRが大切。 チラシをまいても人は集まらないので、口コミの力を使って参加者の輪を広げる。 子どもに「まちづくり」と言っても伝わらないかな。もっと気軽に声をかけて、いければいいですね。 親用、子ども用の出前講座を同時進行(同日)に行う 子どもにも社会に役立つという意識をもたせる 自分で判断できる子どもを育てる。(指示まちの子供が多すぎる)</p>
2. 家庭・地域・コミュニティ (11)	<p>町内と言うがコミュニティを小学校単位にしたらい 家庭、地域レベルでの行事参加から始める。(参加しやすい雰囲気づくりも重要) 地域で子どもと大人のあいさつ重要 地域に本当に子どもが遊べる場を 親子の疎通が重要である 子供会にもうたえて親子の参画必要 話し合いの小集団としての子ども会の月例会を活発にして、子どもの意見をきく 町内会、子供会等子供が楽しいと思う事業を行う コミュニティーの場をつくる 町会長がまちづくりに積極的になる 公園掃除を行政にまかせず、町内会で行う</p>
3. 事務事業 (11)	<p>子供が政策づくりのために参加するしくみ、機会をつくること どのように育った人間であれ、色んな子供達が集まれる楽しい(興味がある、のぞいてみたい)居場所になる場をつくる 昔は自然と外で遊べたが、今は道路、空地、畑も遊べない、公園で集まると不信視される市のイベントであれば企画、それが無い人がふれ合える場、イベント(楽しい)を企画する 事業を行う場合子供にプランニング等自主的に行わせる 子どもが参加できるボランティア活動(公園の美化)(例 資源ゴミ) 子ども市議会が小中高生徒参加のワークショップ 親子が参加できるイベント 子育て世代の意見を出し合う場 iビル、市庁舎etcの公共施設の計画にも子どもに参加してもらう。*図書館のあり方etc 子どもにとって楽しいイベントをする</p>
4. 考え方(コンセプト) (9)	<p>まちづくりへの参加は、1日では成らない、長い期間で！ 長期的に考えること 中長期的な取組が重要である 世代によって子供のかかわりが違うと思うが、まちづくりの方向性を市民全員で共有できるような仕組みを考えていく。 子供の成長段階を理解して接していく。十肥ひとかけらでは、まちづくりのバランスが取れない 地元を愛する活動をふやしていく 子供どうしお互いを認めあえるようになれば自然と参加することが楽しくなると思う。 困いをまずはつづらないor困いを解くことからはじめないと。 まず、「おおらかさ」を子供たちにしめすこと。(=今の子供は締付けが多すぎる) その中で、わきあがってくるもの(まちづくりについて)を上手にくみとることが必要 くみとり手がだれが主体になるかも重要</p>
5. 子どもに聴く (8)	<p>まずは何がやりたいか子供自身に聞く事が重要 まず子供目線で進める 子供達の考えを知ることが先 先に子供の意見希望もきいてから取り組もう 現代を生きる(今現在)親と子どもの考え方をしっかり傾聴する 大人の考えだけではなく、子供(小中学生)も一緒に参加できる会合にしてほしい。子供の発想(考え)にはヒントがあると思います。次回は是非そのように工夫して下さい。 子供が何をしたいか意見を聞く 子どもの意見をきく</p>
6. 大人の関わり方 (5)	<p>大人が変わらなければいけない 大人が最初に手本を見せる(何事に対しても) きっかけを与えるのが大人 現役時代の親は忙しすぎる。かわって、リタイヤ後のおじさん、おばさんが地域の子供の教育に参加してはどうか。 社会経験豊かな老人の活用</p>
7. その他 (11)	<p>「まちづくり」が、どんな内容をめざすかが第一の問題である 一方、具体的な内容でないと、中々、理解されないという現実がある 木曾川遊歩道が整備されても「ごみ」への対応について遅れが目立つ 夜間のバイク「暴走」への対応について、妙案期待 身近な環境が本人にとって快いのが一番望ましい姿である 夫々の人の生き様は千差万別、これを一括して表現すると、どうしても抽象的になる。 日常的に入れられない場所も楽しみ 成功事例はあるのか？ もっと行政で責任をもってほしい。思考、発信、行動、もっとできることが多いはず 若い世代のまちづくりへの関心を集めるには？ 公共のものを大事にする</p>